

## 第 4 次やまなし食育推進計画策定に向けた論点

### 1 第 4 次食育推進基本計画（国）の動き

- ・特に若者の朝食欠食割合が高く取り組みを継続
- ・健康寿命の延伸が課題
- ・企業による従業員に対する食育
- ・SDG s の目標である食ロスを意識した食育を推進

### 2 食ロス削減関連の動き

- ・平成 27 年 9 月 国際的な食品ロス削減の機運の高まり  
国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた SDG s のターゲットとして食料の廃棄の半減を記載。  
恵方巻きの大量廃棄など食品ロスの問題が報道されるようになる。
- ・令和元年 5 月 食品ロス削減推進法成立
- ・令和 2 年 3 月 食ロス削減の推進に関する基本的な方針  
「食品ロス削減推進法」に基づき、食品ロスの削減の推進に関する重要事項を定める基本的な方針を定めた

### 3 山梨県総合計画の策定（令和元年 12 月）

- ・観光産業の振興として、本県の地域資源を活用した観光メニューを提供
- ・令和元年 8 月「ワイン県」宣言を活用した観光振興
- ・ぶどう、もも、すももや「甲州牛」、「富士の介」などの国内における「やまなしブランド」の強化

### 4 食育に関する県の取り組み

平成 30 年度から、郷土食や地域ブランド食等を県民に広く周知し、食文化の継承を図る取り組みを重点的に実施

- ・平成 30 年「食の伝承マイスター」認証制度の開始
- ・平成 30 年～令和元年「やまなしの食」176 品目認定
- ・令和元年 6 月「食育推進全国大会 IN やまなし」を開催し、やまなしの特色ある食文化等を全国に発信

### 5 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・外出自粛、イベントの中止等に伴い、新たな食品ロスが発生
- ・学校休業、テレワーク等により、在宅時間が長時間化